

様式2

九州農政局 新技術・新工法 一覧表

1. 番号	2. 工程番号・分類(その1)	3. 工程番号・分類(その2)	4. 新技術の名称	5. 新技術の概要	6. 登録年度	7. 更新年度	8. 組織名(会社名)	9. キーワード(その1)	10. キーワード(その2)	11. 施工実績(件数)						12. 担当者所属・氏名	13. 担当者メールアドレス
										国営	公団営	県営	団体営	その他公共	民間		
	9 管水路(バイブライン)工	9 管水路(バイブライン)工	L-P I P工法	L-P I P工法は、老朽化した既設管内に更生管(FRPM管)を接合後、ジャッキにより順次挿入する工法で、特殊な設定がない限り既設管と更生管の隙間に中込材は打設しないことを原則とする。また管と既設管の間に摩擦低減材を設置して、更生管表面の損傷防止と挿入荷重軽減を図っている。また、L-P I P工法では更生管の継手部に離脱防止機構を設けており、耐震性向上が図れることに加え、耐用年数を経過した更生管を引抜き、新たに同口径の管を挿入することも可能となる。	2020		株式会社栗本鐵工所	12 施設の長寿命化	15 補修工法	0	0	1	0	0	1	化成産品事業部 西部営業部 九州営業課 長谷川 一仁	k.hasegawa@kurimoto.co.jp

記入要領

※記入に当たっては、別数は変更(挿入)しないこと。セルの結合も行わないこと。

- 番号 記入不要
- 工程番号・分類(その1) 下記の工程分類表を参考にドロップダウンで選択
- 工程番号・分類(その2) 上記「2. 工程番号・分類(その1)」以外に分類する必要がある場合は、ドロップダウンで選択
- 新技術の名称 名称を記入
- 新技術の概要 新技術の概要を簡略に記入
- 登録年度 登録年度を記入する。今回が再提出(更新)の場合、当初年度を記入
- 更新年度 更新の場合に当該年度を記入
- 組織名(会社名) 組織名、参画社名を表示(複数の場合は全社を記入)
- キーワード(その1) 下記のキーワード選択表を参考にドロップダウンで選択
- キーワード(その2) 上記「9. キーワード(その1)」以外に加えるキーワードがある場合は、ドロップダウンで選択
- 施工実績 項目別に件数のみを記入(※半角で記入)
国営、公団営、県営、団体営の欄は、NN事業に係るもの。その他公共は、国交省等の公共事業関係、民間は公共事業以外
- 担当者所属・氏名 担当者の所属、氏名を記入
- 担当者メールアドレス 担当者の連絡先のメールアドレスを記入(※メールアドレスはHPには非公開)

工程分類表

工程番号・分類	備考
1-1 フィルダム	
1-2 コンクリートダム	
2 頭首工	
3 ポンプ場	
4 ほ場整備	
5 農地造成工	
6-1 農道(道路)	
6-2 農道(橋梁)	
6-3 農道(トンネル)	
7-1 水路工(開水路)	
7-2 水路工(暗渠)	
7-3 水路工(水路トンネル)	シールド工含む
7-4 水路工(水路橋)	
7-5 水路工(サイホン)	
8 河川及び排水路工	
9 管水路(バイブライン)工	推進工含む
10 畑かん施設工事	
11 干拓工事・海岸堤防	
12 たの池	
13 ファームpond	
14 農地保全	
15 法面保護	
16 農村整備	
17 農業集落排水工	
18 環境保全	
19 水管理施設	
20 ゲート・バルブ	
21 除塵機	
22 土壌改良	
23 公害対策	
24 基礎工	
25 仮設	
26 その他土木工事	
27 その他施設機械	
28 建築	
29 計画・設計技術	
30 測量技術	
31 情報化技術	
32 その他	

キーワード選択表

キーワード
1 農業生産性向上
2 高付加価値型農業
3 生活環境
4 自然環境
5 景観保全
6 生態系保全
7 国土保全
8 コスト削減
9 施設管理
10 施工作業効率
11 施工精度
12 施設の長寿命化
13 機能診断
14 予防保全
15 補修工法
16 災害復旧
17 安全性の向上
18 その他